

別表1. 区間ごとの特記すべき課題

検討区間		災害に強い道づくり		通行安全性、利便性の確保		環境の保全・活用	
		現況と特性	課題・キーワード	現況と特性	課題・キーワード	現況と特性	課題・キーワード
I	大鼓山線・角突山線 京丹後市弥栄町スイス村～宮津市宇松尾(主要地方道浜丹後線)	法面の緑化困難な箇所が多い。 家族旅行村から汐霧山周辺にかけて、落石の危険、路肩の軟弱な箇所が多い。	危険箇所の早期復旧	2車線整備完了区間と未整備区間が交互に入り乱れる。 工事中途区間が有り走行性が悪だけでなく危険性を伴う。 1期工事区間と世屋高原周辺の集落、施設を連絡するネットワーク機能。 南側に接続する府道浜丹後線の改修計画は、1.5車線の整備に変更された。 多雪地帯であり積雪によるカーブミラーやガードレールの破損箇所が多い。 世屋高原では路線バスの運行、冬季の除雪も行われている。 汐霧山より北側に国有林や官行造林が多く人工林も多い	アクセス機能 ネットワーク機能 支線の整備 市道成谷線 府道浜丹後線 交通量比較的多い 安全施設の設置 国有林	保全上配慮すべき植生が沿線に多い。 家族旅行村から汐霧山周辺にかけての区間で眺望が良い箇所が多い。 NPO等を中心とする団体により里山保全と地域興しの取り組みが始まっている。 汐霧山より北側の区間では須川流域の源流にあたる。 周辺が自然公園に指定される予定。	景観保全 貴重動植物の保全 濁水対策 自然公園指定
II	成相線北側 鼓ヶ岳から北側 宮津市宇上世屋(府道上世屋内山線)～宮津市宇成相寺(林道成相寺線)	区間の南側で法面の緑化が困難な箇所が多い。 区間の北側では落石危険箇所がある。 谷部から林道への土砂流出を受けやすい箇所がある。 路肩の軟弱な箇所も多い。	上流からの土砂災害対策 落石対策	急カーブがもっとも多く連続する区間 多雪地帯であり積雪によるカーブミラーやガードレールの破損箇所が多い。 北側に接続する府道上世屋内山線は幅員が狭く、改修計画もない。 区間途中には一般車両が通行できる接続道路が一切無い。 南側に接続する林道成相寺線は未舗装。その先、私道を経て成相寺・展望所、市道に接続。	上世屋内山線の幅員 急カーブの連続 交通量少ない	背後に上世屋内山自然環境保全地域が広がるなど、 ブナ林など配慮をすべき植生の中を通過する。 上世屋側の区間では上世屋集落を望める箇所が散在する。 区間南側では若狭湾を見下ろす眺望を楽しめる。 林道及び周辺では自然観察の取り組みも行われ、観察歩道や小さな駐車スペースの整備も求められている。 周辺は既指定の区域と合わせ、全区間を対象に自然公園に指定する予定となっている。	環境・自然の保全 貴重動植物の保全 景観保全 自然公園指定
III	成相線南側 鼓ヶ岳から南側 宮津市宇成相寺(林道成相寺線)～京丹後市大宮町延利(主要地方道網野岩滝線)	地盤の風化が特に進んだ脆いマサ土地帯にあり、斜面崩壊が起こりやすい。 林道排水による下流への土砂災害の危惧。 宮津市、岩滝町域では特に急峻な斜面が連続し、法面や路肩の老朽化が進行。 区間の南西側では下流に農地や人家、水源が控え土砂流出に対する危惧がある。 区間南西側で路盤の軟弱な箇所が多い。	風化したもろい地質 土砂流出対策	途中の接続道路(市道)は、幅員狭いが改修計画が無い。 接続する林道成相寺線は未舗装。その先は私道を挟んで市道に接続する。 当地域の主要な観光地である天橋立・笠松公園と成相寺の背後に位置し、林道一体となったネットワーク機能が期待できる。 区間北側は多雪地帯で積雪によるカーブミラーやガードレールの破損箇所が多い。 南側に接続する林道成相寺線は未舗装。その先、私道を経て成相寺・展望所、市道に接続。	アクセス ネットワーク機能 安全施設の設置	阿蘇海・天の橋立から長大法面や大面積の擁壁は景観に影響を与える。 鼓ヶ岳周辺では保全上配慮をすべき動植物が見られる。 岩滝町側沿線は自然公園への指定が予定されている。 区間の南側でゴミの不法投棄が多い。	景観保全 貴重動植物の保全 自然公園指定 ゴミ対策
IV	大内線・奥寄線 京丹後市大宮町三重(大内峠)～京丹後市大宮町三重(水戸谷峠)	地盤の風化が特に進んだ脆いマサ土地帯にあり、斜面崩壊が起こりやすい 林道排水による下流への土砂災害の危惧 奥寄線では土砂災害の未然防止とルート変更への地元要望が非常に強い 奥寄線当初ルートの下流には岩滝町石田、野田川町下山田の集落が近接。野田川町区間下流に、は主要な水源が位置する。	風化したもろい地質 土砂流出対策 防災対策 ルート変更	大内線では、2車線整備済み区間と未整備区間が入り乱れる 途中の接続道路(府道、市道、林道)は、幅員狭いが改修計画が無い。 大内峠周辺に公園、コテージ等の整備が整い国道からのアクセス向上が望まれている。 「丹後縦貫林道の新たな入り口」としての位置づけ 未開通で供用開始していない。	アクセス機能 接続道路の改修 支線の整備 ネットワーク機能	大内線は天橋立や阿蘇海周辺からの景観に影響を与える可能性がある 大内線の岩滝町側沿線は自然公園への指定の動きがある 大内線は一字観公園、板列展望台をはじめ、天橋立を「横一文字」にみる眺望が良好な箇所が多い。 大内線は近畿自然歩道の一部に指定され、板列遊歩道などもあり景観を活かした整備が望まれる 奥寄線は現計画ルートの場合加悦谷から正面になり、景観へのインパクトが大きい 野田川地区では一部に展望施設を求める声もあり、今後調整が必要 区間の南側でゴミの不法投棄が多い。	景観保全・活用 自然公園指定 ゴミ対策